

講習の名称	【選択】複素数とその応用
講習の概要	複素数には四則演算によって代数的な構造が定義される。一方、複素数の実部と虚部を対にすることによって、複素数を実数平面上の点と同一視することができる。この講習では、この同一視によって図形の幾何学的な性質を複素数を通して表し、直線や三角形、円などの簡単な図形に対して成り立つ定理を複素数を用いて証明する方法について説明する。
担当講師	上野 慶介（理学部担当講師）
講習開設日	平成 30 年 8 月 2 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	理学部 1 号館 1 階 12 番教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校教諭，高校教諭（数学）
受講予定人数	19 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	ノート、筆記用具
評価基準	①全時間出席していること ②筆記試験で合格点を取ること
評価の観点	講習内容を理解しているか。 それをきちんと伝えられるかを見る
その他特記事項	